

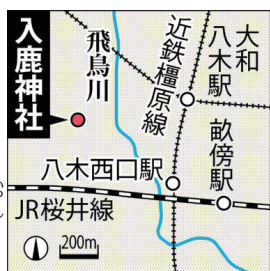


入鹿神社の本殿―檀原市で



住所 檀原市小綱町3335
祭神 蘇我入鹿、素戔鳴尊
文化財 1980年に檀原市が指定
交通 近鉄大和八木駅から西へ徒歩
約10分
（拝観） 境内自由
（駐車場） あり（無料）
（電話） なし

入鹿神社（檀原市）



飛鳥時代の豪族、蘇我入鹿の名を冠した入鹿神社（檀原市）は、近鉄大和八木駅の西に鎮座しています。この辺りは入鹿の母の出身地で、入鹿は幼少期をこの地で過ごしたとも伝わります。祭神は蘇我入鹿と素戔鳴尊で、入鹿を祭神とする全国で唯一の神社です。

645年の乙巳の変で中大兄皇子に滅ぼさ

れた入鹿を逆臣とする説が有力ですが、地元の人には冤罪だと捉え、今に至るまで崇敬しています。入鹿は頭脳明晰だったことから、学業成就の神として有名です。また、入鹿は乙巳の変で首をはねられたため、首から上

の病に靈験あらたかな神として全国から信仰を集めています。江戸時代初期の本殿は市指定文化財です。明治時代に檀原神宮（檀原市）が造営されるにあたり、政府は「神武天皇を祭る檀原神宮の近くに逆臣である入鹿を神として祭るのは都合が悪

い」などと判断。祭神を素戔鳴尊に換えて、神社名を地名から取った小綱神社に改めるように指示しましたが、地元住民が拒んだそうです。境内に建つ神宮寺である「正蓮寺大日堂」は室町時代のもので、堂内に安置される鎌倉時代の大日如来坐像とともに、国の重要文化財に指定されています。

全国唯一 蘇我入鹿祭る

（奈良まほろばソムリエの会員 田村基樹）